

令和3年度 生協会計学習会

決算関係書類等の開示事項についての知識を習得するとともに、貸借対照表や損益計算書といった決算関係書類を理解する基礎的な知識・技能を修得し、経営分析の手法、税制改正について学ぶことを目的に開催しました。

■日時 令和3年9月16日(木) 午後1時30分から午後4時30分

■場所 オンライン開催(マイクロソフトTeams)

■講師: 日本生活協同組合連合会

管理本部 経理部 土屋里奈様

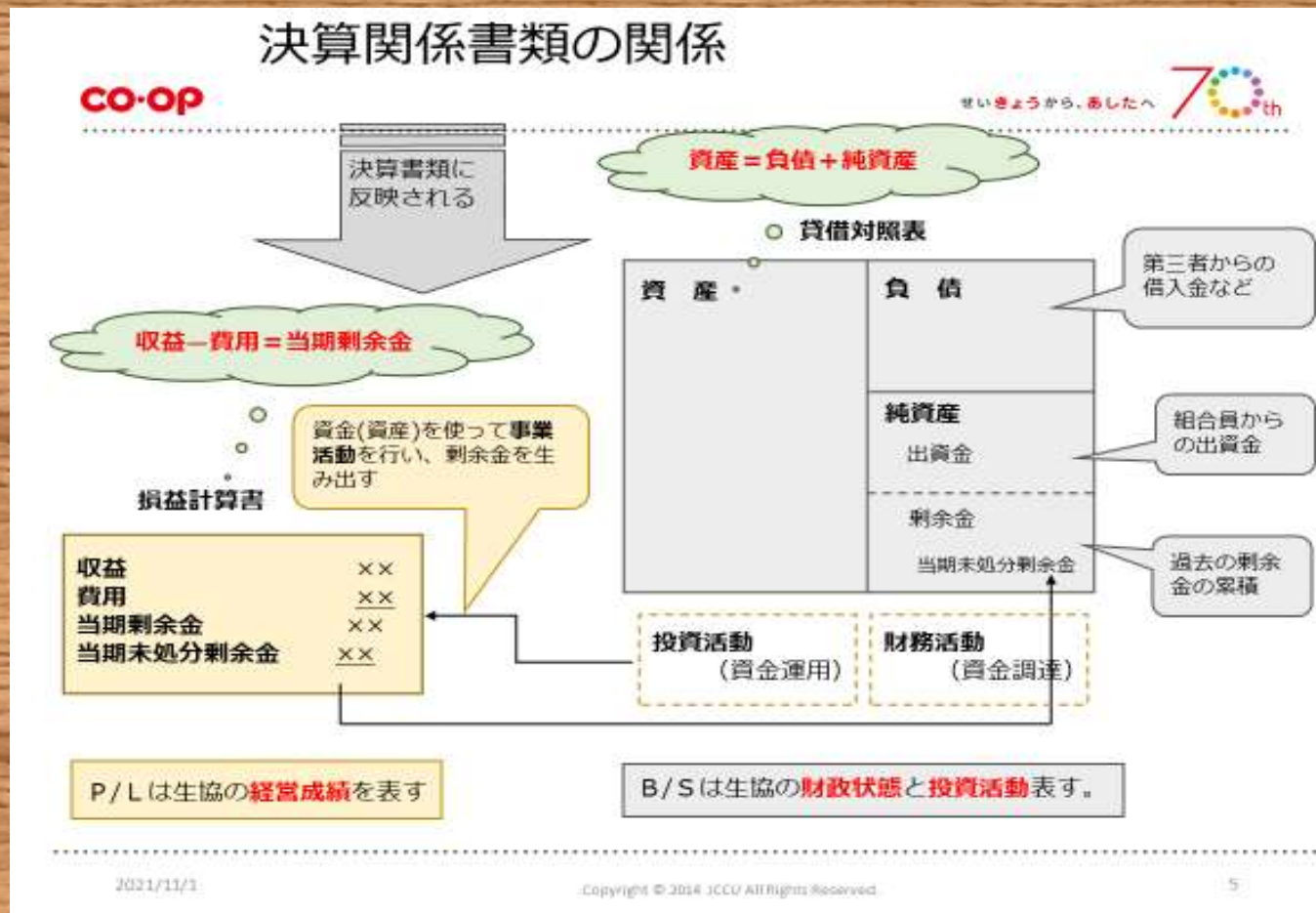
■参加者22名(11生協17名、行政1名、県連4名)

一宮1名、トヨタ1名、かりや愛知中央3名、愛知県職員1名、トヨタ車体1名、愛知県警察職員1名、名古屋大学消費1名、自然科学研究機構1名、名古屋市民火災1名、連合会アイチョイス2名、大学生協事業連合4名、県民生活課1名

講義

<講義 I> 決算関係書類等の作成上の留意点

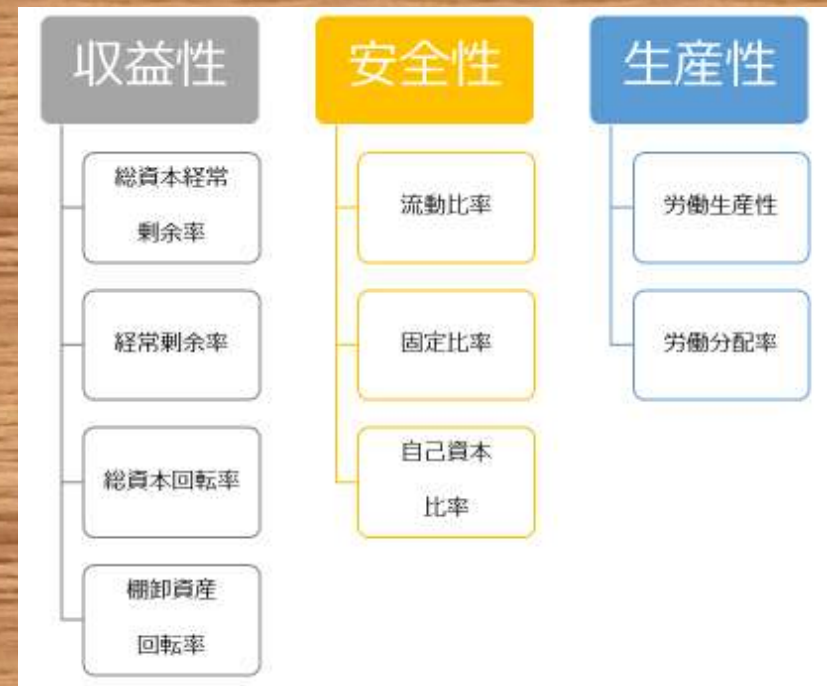
- ・生協の活動と決算関係書類の関係
- ・生協事業はどのように決算関係書類に表されるか(Q&A方式)
- ・損益計算書と貸借対照表



講義

<講義Ⅱ> 経営分析の基礎

- ・経営分析の目的と指標例
- ・収益性の分析
 - 1) 総資本経常剰余率
 - 2) 回転率、回転期間
- ・安全性の分析
 - 1) 純資産、負債の割合(自己資本比率)
 - 2) 固定資産の資金調達(固定比率)
 - 3) 短期債務の支払能力(流動比率)
- ・生産性の分析
 - 1) 労働生産性
 - 2) 労働分配率



講義

<講義Ⅲ> ケーススタディ

- ・A生協とB生協の貸借対照表、損益計算書及び主要分析比率が算定されたシートをもとに、収益性、安全性の観点から両者を比較
- ・Q&A解説

		経営指標	単位	計算式	A生協	B生協
収益性・生産性	1	総資本経常剰余率	%	経常剰余金 ÷ 総資本		
	2	供給剰余率	%	供給剰余金 ÷ 供給高		
	3	総事業高対人件費率	%	人件費 ÷ 総事業高		
	4	総事業高対物件費率	%	物件費 ÷ 総事業高		
	5	労働生産性	百万円	事業総剰余金 ÷ 職員数		
	6	労働分配率	%	人件費 ÷ 事業総剰余金		
	7	1人当たり人件費	百万円	人件費 ÷ 職員数		
	8	職員数(注)	人			
		⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
安全性	18	流動比率	%	流動資産 ÷ 流動負債		
	19	固定比率	%	固定資産 ÷ 自己資本		
	20	自己資本比率	%	自己資本 ÷ 総資本		

次年度以降についても、経理関係者の会計処理知識の向上と、役職員の経営分析手法の向上を目的に研修を継続してまいります。